

## 学校評価のねらい

学校評価は自己評価（内部）と外部評価の相互作用の中で教育活動の充実を図ることにねらいがある。自己評価は学校教育目標の実現を目指し、生徒の姿に現れた具体的な成果・課題をもとに、学校自らが取組の継続的かつ迅速な点検・見直しを行うために実施するものである。

外部評価は学校が行った自己評価に客観性を持たせると共に、外部の評価者（保護者・地域の方など）の学校の教育活動に対する関心を高め、同時に熱意と責任ある評価により、それぞれの果たすべき役割を再認識し、双方向に連携することで生徒にとってよりよい教育環境を作り上げるために行うものである。

	評価の検討と実施	学校評議員の会	公表の時期と方法
中間年間	4 教育指導計画書の作成		学校だより（教育方針の発信）
	5 学校評価の実施に向けた企画 評価項目の検討	学校評議員の会発足 学校評議員の会 学校教育方針の説明	評価年間計画をHPに公表
	6 休日参観 保護者アンケート		
	7 生徒アンケート 保護者アンケート 前期自己評価の実施		
	8		
	9 評価結果の分析(評価委員会・分掌会) 後期方針の検討（学年会・研修会）	学校評議員による 評価の実施	
	10 地域の方へのアンケート		学校だより、HPで結果・改善策を公表
	11		
	12 保護者アンケート 年間自己評価の実施		
	1 生徒アンケート	学校評議員による 評価の実施	
	2 評価結果の分析(評価委員会・分掌会) 改善策の検討（学年会・研修会）		
	3 次年度の方針の共通理解	学校評議員の会 次年度の方針を説明	学校だより、HPで結果・改善策を公表